

支那

(米國の運動開始) 米國政府は支那問題に對し、同文通牒を發し、治外法權撤廢に就き調査する爲委員會を組織する事切なる事を奨励す。洪水の犠牲、先週の水害の犠牲者數は死者四十三人、負傷者十八人、(日英米協同調査) 日英米三國對支政策に關し、調和を缺くとの報あり。(日英米協同調査) 上海の全支商業會議所は日本品及英國品に對し、ボイコットすることに決し、違反商人には罰金を科する。

(米艦に糧食供給拒絶) シンチョウウ、從泊の米國砲艦及同地在留英國民は糧食品の供給を拒絶された。(張作霖の行動) 張將軍は奉天へ出發前自衛隊で前清帝を迎へ約一時間懇談したと天津からの報がある。

(大洪水) 各地に亘り既に二十日間も降雨続き、大洪水が起きた殊にチンラ湖附近及オリサ地方が甚しく家を失へるもの數千家族山岳に避難してゐる死者多數ある見込。

(伊太利移民を呼ぶ) 露國政府は南部地方の農業の爲伊太利移民の入國増加可否に就き調査方を駐露伊太利大使館員バビラニ氏に委嘱した。

(ルールの撤兵) 聯合國軍隊は支那なルールの撤兵を開始し、二十一日ウエストファリアには聯合國兵は一兵をも止まらなくなつた。

(獨逸條約破棄) 獨逸政府は十月十六日獨逸の獨逸條約は西國が履行を怠るので破棄することを西國へ通告。

(罷業加増) 運輸業労働者聯合會は、罷業従業者側に加増する事を決議す。(大地下鐵道計畫) 貨物運輸の爲倫敦市に一大地下鐵道の計畫がある工費豫算は二千萬磅で労働者一萬を要する此資金は主として米國資本家に之を仰ぐ等完成すると世界一の地下鐵道網となる。

葡萄牙

(又も革命運動) 十九日朝リスボアに又も革命運動勃發したが直ちに鎮壓されてしまつたが全國に戒嚴令布かれ内閣は辭職した。

(佛軍の兵數) ルール撤兵の佛軍は、續々モロッコに到着既に十四萬を算し、月末迄には二十萬に上る筈。

(土耳其軍人の援助) モロッコ軍に土耳其軍人あり其中に獨逸の軍事に精通せる前土國參謀部の將校がある(佛軍の損害) 本月に於ける佛軍死者及行方不明者四千七百七十三人、負傷者二千七百七十五人、(解決は本年内) 西班牙のリベイヤ將軍はモ國問題解決は本年内と聲明

●郷里送金相場 橫濱正金銀行リオ支店七月廿一日郷里送金相場日本金一圓に付伯貨三十三圓四十一ノース

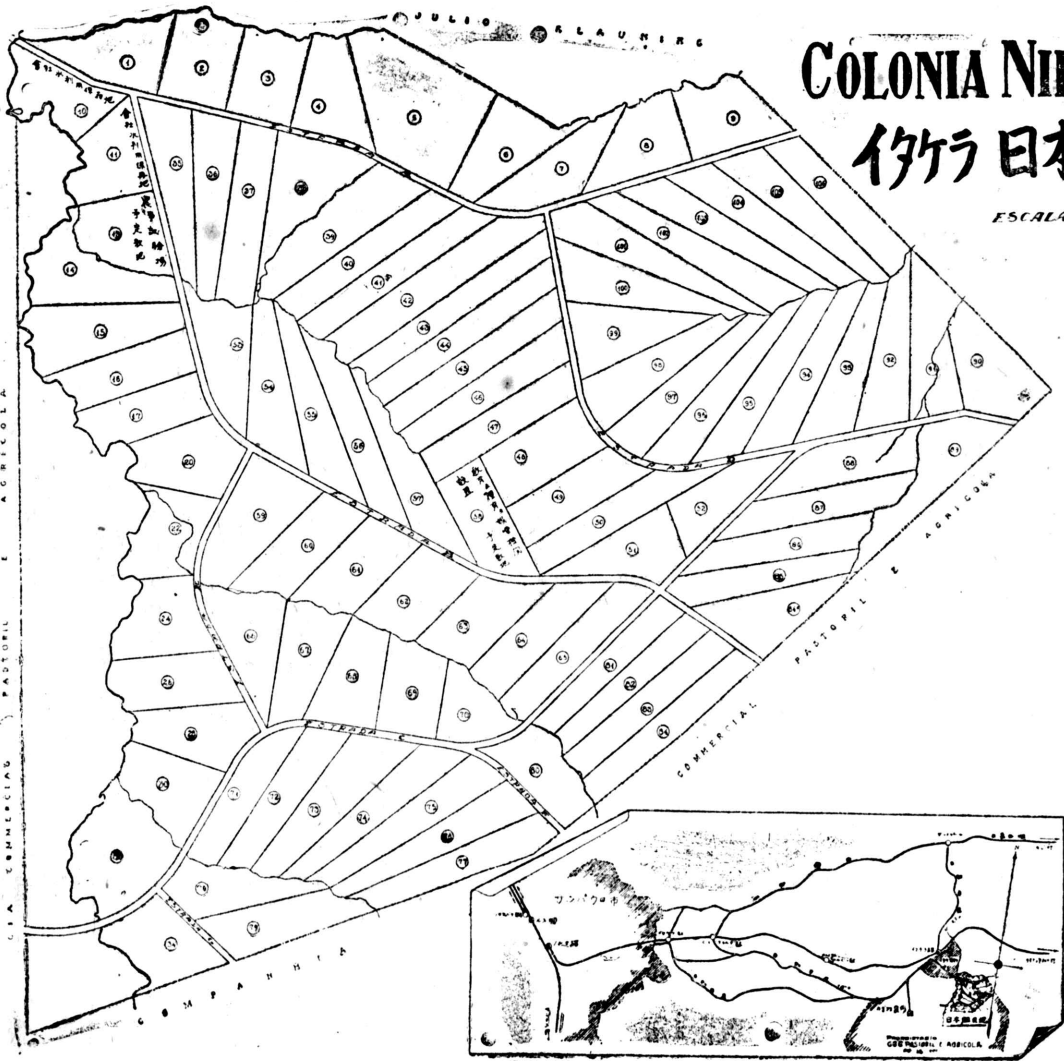
最上	六〇〇キロ	七九、〇〇〇
上等	六〇〇キロ	
特等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	
等	六〇〇キロ	

Cia. Commercial Pastoral e Agricola

Caixa Postal, 2740 Rua São Bento, 45 sob. SÃO PAULO

當會社事務所

聖市(サンベント)街四五
(二階) 郵函二七四〇



聖市郊外唯一の 野菜果樹栽培適地 日本殖民地

一、建設の趣旨

南米のニューヨークは伯國の聖市であるが、現時の聖市の膨張の急激なる事は世界稀に見る處だとして居る。當國首府リオ市を迫り近き將來に二百萬餘の大都會に成る事云ふ事は實際に聖市事情を知る人の皆言ふ所である。聖市の膨大に伴ふ需要の劇増は且つ其の價格の騰貴可き騰貴である。夫で聖市郊外の野菜作は最も収入が迅速で且つ有利確である事は誰でも承知の筈である。然るに日本人は元來此の集約的の野菜作には最も獨特の技術を持つて居る事は已に北米各地の市で證明した事である。然るに今日迄日本人の此の有望な聖市郊外野菜作に従事して居るもの、至つて稀であるのは何故であらう乎。此には別に深い理由はない、其は一にその適地を見出す事が至難であるのと且つは見當つても中々地價の高い此の郊外であるから其の地代拂込法が地主の方で特別に容易の法を講じて呉るものがないからであらう。

二、當殖民地の特色

當殖民地は曾てない特殊のもので野菜、果樹を主とする計りでなく次に列記する様な特色を有して居る。
(一)當會社は日本殖民地の完全なる發達を計る爲に、農事に勉勵能く働く日本人農家の入殖を望むは勿論であるが、進歩せる理想の一致、團樂の農園を立てたい精神であるから、我利の土地と共同の出来ない日本家族及び土地を賣入れ放棄し置き地價の騰貴を待つ様な者は絶対に入殖を望まない。
(二)當殖民地の各區は大略一域内外で必ず區内には流水と車道が通うてゐる。
(三)野菜作に缺くべからざる肥料殊に厩肥は當會社所有の大牧場が當殖民地に接續してゐるから其から容易に安價に得らるゝ事である。

三、地代及び其の拂込法

當殖民地は一區を略一城宛に區劃してあつて各一城に對し六コントスの地價である、一度聖市郊外地を見た人の首肯する如く一米突四方を單位として賣買して居る聖市の膨張と共に近い内に此の地も市街地たるべき土地なれば實に格外安價と云ふべきである、殊に拂込法に於ては日本人農家の發達を容易ならしむる爲に五ヶ年の六十ヶ月々賦拂としたので、即ち毎月百軒を拂込めば宜いのである、若し一時に一年分又は全額を前拂する場合は割引をする事になつて居る。

四、位置、地勢、地味

當殖民地の位置は上圖にある如く中央線のイタケラ町に接續してジャク

五、交通

交通の點は最も當殖民地の特色とする處で地内には上圖にある様に縱横に車道があり、殖民地からイタケラ驛までは立派な自動車道がある、又イタケラ町から聖市迄は二本の自動車道が通じ孰れも四十五分内外で聖市の中央メルカド迄往來する事が出来る、イタケラ驛から聖市のノルテ驛迄は毎日二十餘回の往復郊外鐵道があり僅かに往復賃三百レリス、一ヶ月乗車券五軒である、此の外に目下イタケラ町から聖市迄通ずるカミニオン(カミニオン)の設けあるが當會社でも他日地内の產物増加と共に、必要に應じカミニオンを毎朝定期に出すの計劃もある、又リオ市に野菜の出荷を爲す場合は毎朝野菜貨車が當驛を通過するが故に極めて低廉な運賃にてリオ迄送出す事が出来る。

六、生産した野菜、果實の販路

當殖民地の產物の販賣先は三ヶ所である。
第一がイタケラ町で、當町は殖民地に接續して居る町で現に千五百戸を有し日に月に住民が劇増して居るから此の町の野菜の消費は夥しい上に他に野菜専門業者の少ないのであるが故に此の町で大部分は賣り盡される事は事實である、當會社では殖民地產の野菜の相當發達する時はイタケラ町に青物市場を設立する積りである。
第二の得意先は聖市であつて聖市のメルカドに殖民地から出する時は世人の知る如く販賣に困る事は絶対にない。
第三の販賣先はリオ市で既に云へるが如く野菜貨車があるから容易にリオ市場に出して儲かる筈である。

注意

當殖民地實地視察希望者又は詳細を問合はさんとする方は當會社聖市事務所午後三時一四時頃來訪あらば石橋技師と親しく面談する事が出来るし亦手紙で問合せの方は當會社事務所内同技師宛差出されたし。

ノロエステ線グア井サラ

邦雄は静子にどうかして此の手紙を手渡したいとその時をねらつてゐたが仲々にその機會よいチャンスはなかつた。

「寂しい雨ですす……」。城が鳥の歌でも唱ひたくなるですすわ。と静子は感傷的に言つて寂しいしかし情のこめた視線を邦雄の上に投かけた。邦雄は一刻も早く此の家から出て行きたいと思つた。静子は公然自分の所有としてゐる澤田を眼の前に見

てゐる。いふ事は彼にとつて耐え切れぬ苦痛であつた、しかしそれと同時に、彼の心は静子と一刻でも長く向ひ合つて坐つてゐたいと云ふ感じが湧いて來るのであつた。此の家に居る間彼れは絶えず静子を所有してゐる澤田の壓迫を感じずには居られ

なかつた。けれども、彼は冷めたい人
氣のない學校に歸るよりも此の家に
居て靜子の顔を見、靜子の吐息を聽
きながら生きてゐることを疑ほも幸
福と感じずには居られなかつた。
澤田が何かの用で少し座を空にした
時、初めて英雄は靜子に早口でそし

て聞く様な小さい聲で
「静ちゃん、これを後で読んで下被
い。讀んだらきつと焼いて捨て、下
さい子……私の思つてゐる事を書いて
たものですから」と云つてホルツの
中に入れてから手紙を素早く彼女に
渡した。彼女も少しためらったがす
ばやく受取るより早く胸の内に押し

入れてぐつと上からおさえて素知らない顔をしてシイカラをいちつてゐた。

『よく降る予……。今年の様な日照りにはこんな雨は希らしいですワイ……。雨祝ひでも致やうぢやないか。

「未だ日本から來たての女はこれだから子……」

「日本の女は駄目だ子……」と邦雄も答えて面白くもないのに自分をゴマカシて大きく笑つた、話がとぎれたのをいゝ機會に邦雄は急に帽子を手に取つて

『僕急はやくに取調とくちうべ物を忘わすれてゐたのに
氣付きいたから今日けふは失教しきやうします』
『だつてもう御飯ごはんの時間じかんですよ！も

う用意は出来てゐるのですから御飯
食べてのつくりなすつては如何です
の………
「邦雄君アルモツソでも食つて一日
ゆつくり話して行きなすちやごうで
すか? 君學校に歸つても自炊しなく
ちやならないぢやないの………まあア

「はあ有りがこう又今度御世話になりませう。」「彼等の重苦しい壓迫を逃れる爲にして家を飛び出した。」「随分強情な方子……」と月口送送した靜子は「私を又たつた一人ばつちにして置いて貰方は歸るのさ」と

雨降りあめふりの曠野こうげは涯はてもなく續つづいてゐる
 木に上のぼつてゐた。そこには人影一つも
 ない。――
 「亦また會あひませう。澤田君生敬！ 静子
 さんさよなら！」
 と云ひつゝ、走る様にして大通り迄出
 た。

見出されなかつた、雨の空を二三匹
名も知らない鳥がバストの方に飛ん
て行つた。そして間もなく地平線に
かくれて終つた。彼は雨の中をたゞ
一人悄然として歩いてゐる自分自身
の姿を見出した時、たまらなく寂し
くなつて大道に跪^{ひざまづ}いて泣ける。大泣

「春」の詩人
カジミロ・デ・アブレオ
ヒラシカバにて
コリーナ町人
ガイスコンデ、デ・トネーの言葉等待つまでもなく、はてもなく涙の渡つたブラジルの空は美

カジミロ・デ・アブレオ

ヒラシカバにて
コリーナ町人

多感スアモール」ニサウダーデ」の詩人の生れ
出こころは決して故な事ではないのである。
名篤春の一巻を残して若く逝いたカシミ
ロ、デアレオは、一千八百三十七年（天保八
年）オルトガル人を父として、ミナモト、シヤチ
ロの北方サンジュアンに呱呱の聲をあけし。八
歳の時に文字をまなんだが、それは八歳の頃
に歌はつてゐるやうに

はだして駆けまはつた
自由な山の子――

だつた時代で、その「八歳の頃」はすぐれた詩
の一つとして音律流暢、立つて朗々高唱するに
よく擬れて低聲微吟するにいい。即ち彼の幼年

時代に對する時勢が、若くは未熟の大志のやうにいつか
 時に、こゝちを悲しむばかりの傷みのやうに心を通じ
 て清麗珠玉の花咲いたのであらう。

その年即ち八歲であつた年に彼の父はあつ
 る山脈のなかへ「リグア、ブリブルク」にある
 たコシジョ、フリブズに彼を送つたが、兩料の
 愛嬌と遠くになれたたびともそれに幼い妹に對す
 る憂鬱の情にはなだみ、夕暮オレンジ色の空に描
 れわたるアンゼスとの鐘の音にも子供といふ哀
 傷のなごみを流して赤い顔の濡れるもの知らな
 くなつた。彼は或しくて天の詩人だつた。

である。それならば、三竹の節は、
セシテンメンタルなしかし非常に想像力の卓越
した子供で、繪を挿こむことなかり興味をも
つてゐたらしい。しかし勉強することばあまり
好きではなかつた。父は彼を見て、成績あまりよ
くはなかつたので、父は彼をリオ・ヂョネイロ
に送つて商業の徒弟にしてしまつた。彼はう
ちで詩や文學を振舞つてゐた両親から言葉をい
はれながら、筆を握つてゐたうた詩作に邁進し
た。愛、怖れはじめ平易簡單なことも、無限

すゝりなく夕邊

ブリケ井

清

月

一、燃ゆる煙な四の空に
焼くる様な心情は
暮めかくして来日様は
四の山に淋しく沈んで行く
二、暮て消へ行く四方の山

想はて清く人々を
秘めて静けき夜のまは
人の世界に落て來る
三、燃へて葬たる太陽も
焼けて冷やしく人情も
秘めて淋しき此の夕邊
神の恵にすゝり泣く

新刊しゝの

サンパウロ沿海

輸送問題の解決

デー・アー・マクミレン著

サンパウロ経済界割下の大問題となつてゐるサンパウロ—サントス間の運輸問題に就ての研究でサンパウロ鐵道、サントス港、サントスドツク合社内の沿革、貨狀内案を解剖、詳述し最後にサントスバス、新築開設案について述べてゐる附録として多くの統計表や地圖を附し、刻二、二百餘頁の美本(モンテロ、ロバート社發行)

今度サントアントニヨ・デ・ブラチナ町より北方十三キ

私は今度サントアントニオ・デ・アラチナ町より北方十三キロメートルアビンダ・ラ、ンデニヤの一部一千三百アルケルの立派な珈琲地帯を購入致しました勿論一般に行はるゝ土地賣出しを目的としたものでなく自ら所要の面積のみを買ふ筈でしたが値段や其他の關係を右を一纏として購入したもので其中八百アルケルを希望者へ分譲致します

珈琲地帯としてのカンバラ、リオシンザ方面の土地は定評のある處で今更多言を要しませんが地質は純テラロシヤで標高六百二十メートルに達し此の土地のみでなくあの地方一帯は霜害の憂ひは全くありません又土地全般に亘つて水流の豊富なるは舊々小地主の集團に最も適し、たごへアルケルのロットでも堀に接しない様な事はありません地價は四百六十三ミルとしてこゝ數ヶ月間に半金を納め後半金は來年の九月地券は半金拂込と同時に御渡し致します、御希望の方は實地に就て詳しくは觀察の上御購入なさる事をお勧め致します

御觀察される方はオウリニョス驛の自動車業毛利高義氏、カンバラ町なれば岡野爲松氏に就てお尋ね下さい又手紙問合せの方は左記へ御願します

H. HONDA

Caixa Postal. 59
Estação Ourinhos
Linha Sorocabana

西田逸二郎
st. Tabatinga L. Dourado

州當局の消毒檢閱濟

▲種類は
ルツセル ビツグボール
クリフランド ビツグボール
ノービーランド ウリスダ
サンバーン

の四種で精撰した優良品

▲値段は新サツコ入當縣渡し

キロにつち一ミル二百

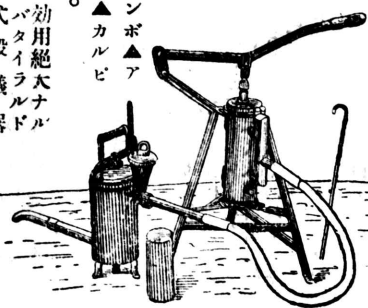
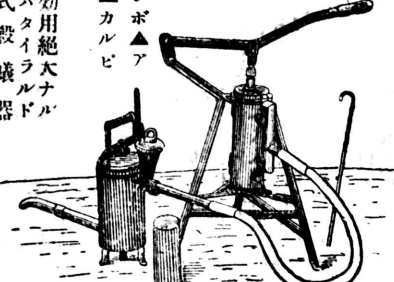
品切れ前に御註文肝要

蜂谷兄弟商會

サンパウロ支店
Rua Senador Feijo,
Telephone Central, 522
São Paulo

Y. SEGUI Rua Conselheiro Furtado, 12
Caixa Postal, 1771.....S. PAULO

製、伊太利製噴霧器、サルバドール印、バタイラルド印殺蟻器▲ベルデパリス▲アルセニコブランコ▲硫黃▲硫酸銅▲アルセニアット・デ・シユンボ▲アゾール▲アラード▲カルビ
 デイラ▲種子蒔器。
 目錄定價 効用絶大ナル
 表贈呈 バタイラルド式殺蟻器
 直輸入商 瀨木商店



我々が視界の彼方迄廣漠と連る純白のアルゴドアルに立つ時湧き出る凱旋將軍の喜びと誇りと

出た事が出ません
 高く積重ねる時
 腕を全くすには
 意に至る迄左の
 皆様の御準備の爲に御待ち申して居ります

◆ 諸肥料 ◆

特に馬鈴薯作に最有効の肥料を調製いたします。そして該肥料は既に日本人農業者諸君の御試用を受け大効果を挙げ得たもので御座います。

**SOCIEDADE ADUBOS
FORTUNA LT.A.**

Rua Boa Vista No. 21 loja
Caixa Postal, 1002
São Paulo

大石内藏之助

第二百二十九回

半井桃水

新六が身に過失あれば、男に對して相濟まぬ譯。何れにしてもない命。中堂又助が覺悟極めた折、不破數右衛門は音訪た、數右衛門が武勇の噂は、かねてより聞及んだので、新六が手並見物の爲め、お掛けるといつた一言には少からず意を強うした。

秋元家の書院には、今も一同打集つて、新六の便り待つた。

走上足廻りの内物訓れた、二三人を、竊に跡を跟けさせたが、その第一の生徒は、百石の御意ぢや。

手負の仲間ともに就き、一夕事情を糾問して立去り、その申立は斯々己が手柄でも誇るやうに、逐一演説に及んだ時は、秋元の主従喜ぶことは、かねてより聞及んだので、新六が手並見物の爲め、お掛けるといつた一言には少からず意を強うした。

又助、汝は好い義弟を持つて居るの、聞けば親もあり兄もあるとの事何ぞその新六を、當家に世話してはくれまいか、二百石宛行ひ、馬廻りに致すであらうぞ。

えさうなもの、直立歸つては、新六の身の上、露顯致すやも計られぬと存じ、わざと何處へか立寄つたのであらう。

夫婦は打連れて家中へ入つた。

而して御前のお首尾は如何で御座りました。

イヤもう此の上もない上首尾で、我君には新六を、二百石のお馬廻りに、お召抱下されうとの御意ぢや。

「エ、二百石のお馬廻りに、マア其

第一の注進は、西丁の藩路で、
よ／＼喧嘩の始つた事、新六が五人を仆し、一人を濠に投込んだ、勇ましい有様を、目に見るやうに物語り、深く一同を喜ばした。
それに反して二度目の注進は、仲間どもが遠巻きにして、石瓦を牀に投付け、新六を惱ます處へ、更に數名の仲間ども、加勢の爲めにまかり向ひ、形勢宜しからずと述べたので一同またも愁眉を寄せた。

石川十郎右衛門は、中堂又助が方へ向ひ
「我君の御懸望、殊に新六はまだ部屋住と申す事、よもお受け致されぬ事はあるまいの」
有り難い我君の御意、勿論新六に於きましては、畏まり奉る事と存したじます、同人儀は私舅、間喜兵衛の次方、同藩早川惣助と申す者の方へ、養子につかはしました處、養

様な嬉しい事を、早く聞かしてやりたいもの、何故戻つて来やらぬかいのう」と又も門口までおかは立出た。

此の時中堂の草履取小一、汗しとどになつて立歸り、
「夫人さま、此處にお出で御座りまして、
「オ、小一、汝は何處へ行つたのか
「新六様のお身の上、何ども案じら

『新六』とやら、如何に武勇すぐれても、今は所詮敵ふまい。此の上は當家より、加勢を出して敵はにやなりぬ。義を見てせざるは勇なきなり。後日は後日の思案がある。と但馬守は罵つた。

『アイヤ、新六に加勢の人數つかはされうとの御意。忝なうは存じますれど、左様御座りますては、新六本意を失ひます。其の上又助少しく恃む處も御座りまするゆゑ、此方の注進まで御猶豫下し置かれませう。』と又助は答へた。

父との折合宜しからず、再び立歸らる覺悟をもつて、出奔致しました次第、なれども養家に対し、同人不都合を働き、右の成行に立至りましたのでは御座りませぬ段は、又助しかとお受合ひ申上げます。

養家へ立歸らる覺悟をもつて、江戸まで出奔したとあれば、御常家へ御奉公、聊か差支ない筈、早速又助より、申傳へられて好からう。

『新六も最早歸宅致しました頃、御意の趣篇と申聞かせますので御座りますので、實はお跡を追ひまして西九下のお濠端まで、參つて見たで御座ります。』

『ム、それでは新六の様子、汝も知つて居るであらう、且那樣も太うお氣づかひなされてぢや、早く上つて委しい様子を。』

AKAOKA
OPRATOR
8—S. Paulo

外科、内科

診察午後 六時より
三時まで

高岡専太郎

御常家の家臣でもない。可惜壯士を見殺しにしては、世上の批判お家の恥辱、速かに御意の如く、加勢の人數繰出さうといふもあり、次の注進を待った上、決定したいといふもあつて、評議區々の處へ、最後の注進到着して、料らずも一個の十通り掛り、仲間どもが礮に中つて、殊の掛り、仲間どもが礮に中つて、殊の外、を殺し、一刀を拔放して、忽ち四五人を斬り伏せれば、新六も此機に乗じ、殘る仲間どもを打仆し蹴散らし、何處さもなく立去つた跡へかばはされた、その最後の注進は、足りませう」と中堂又助は喜び勇んで直機仕居へ立歸つた。門口に待受けた妻のおかち、夫と見るより馳寄つて、『新六は何と致しました』、『おかち、喜んで好からう、新六は思ひの儘、仲間どもを懲打し、無事にその場を立退いたと申す事ぢや』、『エ、新六は怪我もなく、あの手柄を致しましたか』

「御殿よりは三人も、物見の者をつかはされた、その最後の注進は、足りませう」と中堂又助は喜び勇んで直機仕居へ立歸つた。門口に待受けた妻のおかち、夫と見るより馳寄つて、『新六は何と致しました』、『おかち、喜んで好からう、新六は思ひの儘、仲間どもを懲打し、無事にその場を立退いたと申す事ぢや』、『エ、新六は怪我もなく、あの手柄を致しましたか』

◎サンボ
◎金五十軒
◎セバスチオン耕地

江越農技殿
嘉殿
良殿

城比翁

一 金四十五軒

イビチンガ驛
ボアビスタ
ジャカレ植民地
日本人小學校建築費
寄附者芳名並金額

Dr. S. T.
MEDICO
Rua Fagundes
聖市ノアグンデス街八番
電話サントス四一八〇
(聖市各病院に隨時
入降せしむる便宜を有す)

⑤	金五十千鈎 コツケノ口耕地	西田逸次郎殿
④	金百鈎 同二十五鈎	大鹿条三郎殿 瀬戶口浩盛 浦藤太盛
③	金二百鈎 朝日植民地日本人會館 朝日植民地青年會館 河久義夫殿	
②	金二十鈎 イモホリス露	横山寫眞師殿 鈴木岩助殿 井岡龜太郎殿 佐々木吉太盛 富田健次郎殿
①	金五十二鈎 金五十鈎 金五十鈎 金四十鈎 金三十鈎 同五十鈎 一金五十鈎 一サシヨアキ耕地 金九十鈎	岡田幸一郎殿 廣田松太郎殿 吉原長吉殿 岩永西造殿 面迫若松殿

[illegible][illegible][illegible]

Dr. S. TAKAOKA
MEDICO E OPERADOR
Rua Fagundes, 8—S. Paulo

外科 内科

診療時間 午後 三時より
六時まで

高岡 專太郎

聖市 ノブケンヂス街八番
電話センター四一八〇

(聖市各病院に随時
入院せしむる便宜を有す)

イビチンガ驛
ポアビスタデ・
ジャカレ植民地
日本人小學校建築費
寄附者芳名並に金額
サンパダロ
セバスチオン耕地
金五十千
金四十五千
翁比城
長岐
嘉良
技農
越江
農越

[illegible]

町噂深切を旨とし總て
お客様本位に大勉強仕
ります

御旅館

末廣

館主
中山忠太郎

聖市コンデサールゼーガス街
電話…セントラール四五五九

沖繩縣中頸郡串城村字大城
 尋人 宮城 蒲
 私に右蒲の叔母にて昨年八月以來病
 氣に罹り當國にては至快見込なき故
 近日の便船にて歸國致しますと就て
 是非本人蒲に面會の必要有しと候間
 人又は本人の現住所御承知の御方
 御面倒ながら左記へ御一報被下度
 上候
 ジュキア線ベードロバロス驛
 宮城 カナ
 Est. Ichio Banno
 1. Santos-Jirra
 綺麗で、迅速で、町噂で有名な
 石村洋服洗濯所
 電話セントラル貳貳叁四
 Kim do Lavaps No. 236

至急入用

店員	一名
大工	三名
ピントール	二名

右至急雇ひ入れたし御希望の御方は左記へ御照會又は御來談下さい

聖市アロウセ街四一番
家具商 中山伴一郎
電話シターデ四一一五

工場

グリセリヨ街一六二
セントラル
電話 五〇〇八

各地食糧店でお求め下さい
 鹽から
 乾魚
 ケズリ節
 製造本舗
 三共商會
 前田吉太郎
 セナドル、ダントラス街五三番
 電話セントラール三〇五四番
 サントス
 郵函 三二八番

OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社汽船發着廣告

メキシコ丸

北米パナマ經由
橫濱、神戸行き
シカゴ丸

リオ港發八月十九日
リオ港發八月廿二日

日本ヨリ
リオ港着八月十六日
リオ港着八月十八日

サントス、リオ
より橫濱行き
▲尙ほ詳細は記左へ御照會を乞ふ

船賃 壹等三コントス
參等壹コントス

Antunes dos Santos & Co.
S. Paulo : - Rua Rio de Tapajungas, 33-41A
Santos : - Rua do Commercio 84

Wilson Sons & Co. Ltd.
Rio de Janeiro : - Av. Rio Branco, 37

キトリヲ
ガミノ
オモテ
ハラレタ
シ

ニ

RANGO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

リ
オ
デ
ジ
ヤ
イ
ロ

横濱正金銀行支店

之候

金送里郷

一、御送金の伯貨は常店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可仕候

二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て常店に於て負擔いたし即ち全く無手数料にて御郷里の受取人へ送り届け申上候

三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo 又は郵便宜の方は Banco Nacional do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候

四、何れにしても送金申込書は必ず忘れず

に當店へ御送り下されたく候

◆預送金用紙は御請求次第に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候

◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候は御便宜に有之候

金預

日本貨定期預金利息 六ヶ月以上 年六分
伯貨定期預金利息 六ヶ月以上 年五分
伯貨當座預金 (小口) 壹ヶ年以上 年四分